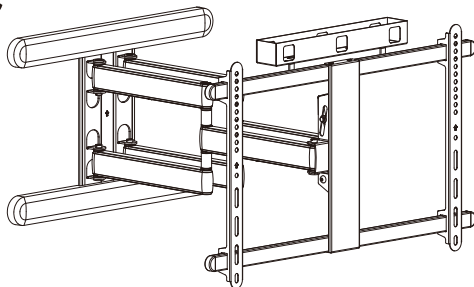


薄型テレビ壁掛け汎用金具  
TV セッターアドバンス



# TVSADDA126L

## 設置マニュアル



### 施工者の方へ

#### 設置前に必ずテレビと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



#### ●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 200mm×200mm、200mm×300mm、300mm×200mm、200mm×400mm、 300mm×400mm、300mm×300mm、400mm×200mm、400mm×300mm、 400mm×400mm、600mm×300mm、600mm×400mm	<b>37-102</b> インチ	<b>65kg</b>

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。  
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

製品に関するお問い合わせ： **0422-38-4912** 受付時間10:00～18:00(土・日・祝除く)

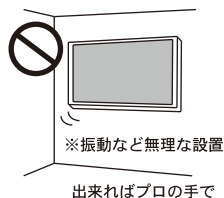
販売元：スタープラチナ株式会社

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F  
<https://starplatinum.co.jp/>

## 設置にあたって：必ずお読みください

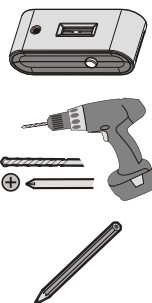


- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
  - ・振動があるような不安定な場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・湿度や温度の高い場所
  - ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
  - ・開閉するドアの側
  - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



## 設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー  
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。  
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー  
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー  
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。  
※付属のネジを使う場合、M13 六角ソケットが必要です。
- 4) ペン  
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 5) メジャー  
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。
- 6) 柔らかい布  
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 7) 軍手  
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



## さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

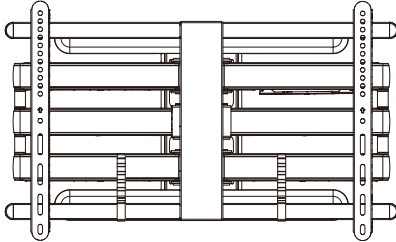
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 200mm×200mm、200mm×300mm、300mm×200mm、200mm×400mm、 300mm×400mm、300mm×300mm、400mm×200mm、400mm×300mm、 400mm×400mm、600mm×300mm、600mm×400mm	<b>37-102</b> インチ	<b>65kg</b>

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

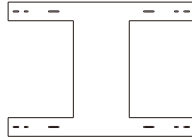
## 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

A 金具本体 1 台



B 設置用型紙 1 枚



C 角度調節用レンチ



D ポケット金具 1 台



E ポケット金具  
取付けボルト 2 本



M5×10mm

### ●ネジパッケージM(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

M-A



M5×14mmボルト  
4本

M-B



M6×14mmボルト  
4本

M-C



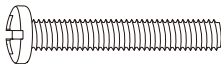
M6×30mmボルト  
4本

M-D



M8×30mmボルト  
4本

M-E



M8×50mmボルト  
4本

M-F



角型ワッシャー  
4個

M-G



小スペーサー  
8個

M-H

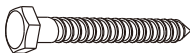


スペーサー  
8個

### ●ネジパッケージW(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

W-A



8×90mm 壁用ラグボルト  
6本

W-B

使用しません



コンクリート壁用アンカー  
6本

W-C



壁用ワッシャー  
6個

※壁の状態によって、別のサイズや種類のネジがあると作業がしやすい場合があります。その際はホームセンター等でご相談ください。

※コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。

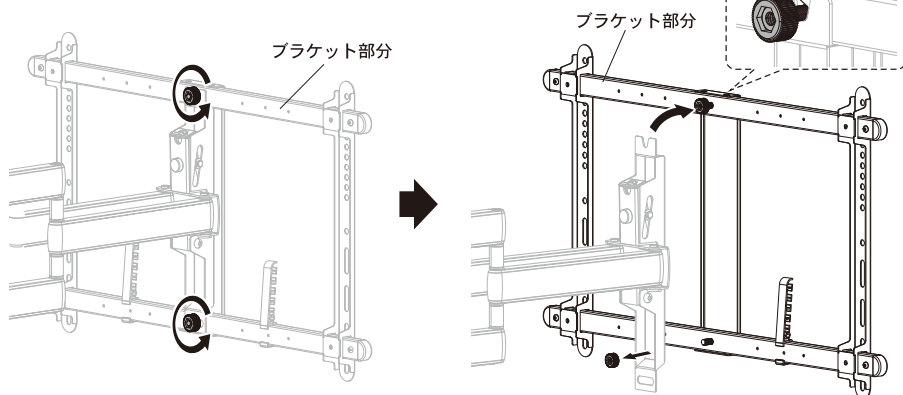
個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

## ステップ 1 テレビブラケットの取り付け

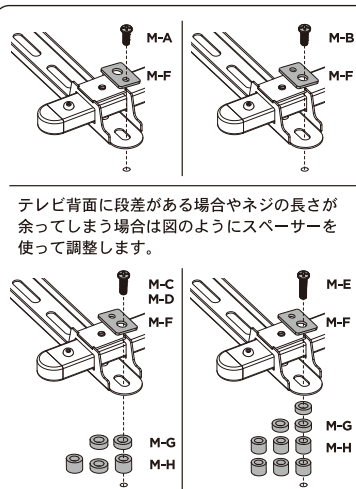
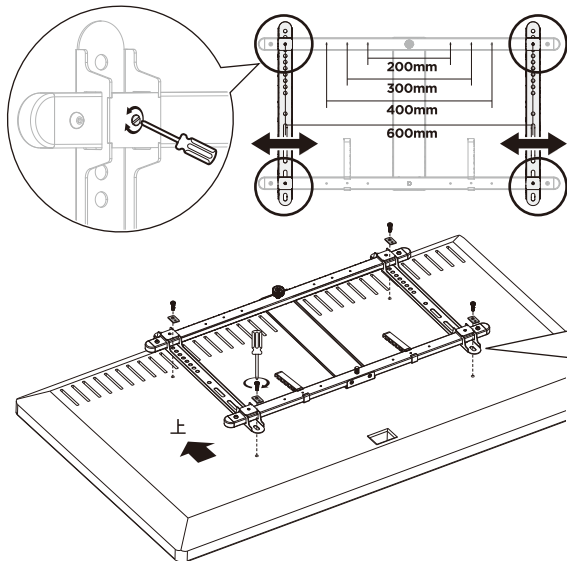
図を参考に、テレビに合うネジと角型ワッシャーを使用し、金具本体 [A] をテレビ背面にネジ止めします。



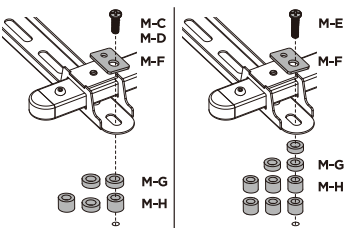
- ① はじめに金具本体からブラケット部分を取り外します。  
ブラケットの裏側中央にある上下のネジを回して取り外します。  
上は約 4mm ほど残し、下はすべて回し切って外してください。



- ② ブラケットの 4 か所のネジを緩め、テレビのネジ穴の幅に合わせて。  
付属品のネジの中から合うネジ [M-A～M-E] と四角型ワッシャー [M-F] を使用してしっかりと固定します。



テレビ背面に段差がある場合やネジの長さが余ってしまう場合は図のようにスペーサーを使って調整します。



- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ブラケットのネジ穴がテレビ背面に合わない場合、お取付けができません。設置作業を中止してください。

## ステップ 2

## 壁の強度の確認と下穴の開口



ご注意

### テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害、及び施工中に付くキズ・破損等については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

### 最重要ポイント

壁裏の間柱や強度のある壁に設置を！石膏ボードのみへのくぎ打ちでは強度不足です！

#### ●壁の構造について(必ず耐荷重のある壁への設置を！)

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱(スタッド)に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分に注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー(1500円程度)やキリを更に細くした検知針が便利です。

#### ●間柱を見つけたら

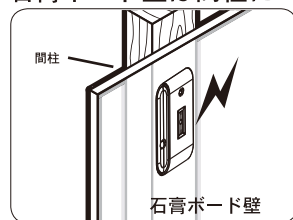
間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくはセンサーや検知針の説明書をご覧ください。

#### ●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。

個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

### 石膏ボード壁は間柱に！



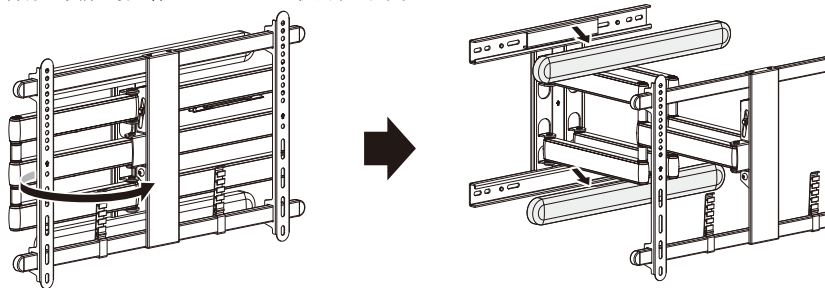
#### ●一般的石膏ボード壁の場合

壁裏センサーを使用して間柱を見つける。キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。

## ステップ 2-A

## カバーの取り外し

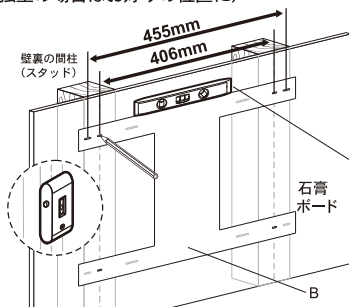
アーム部分を手前に引き伸ばしてカバーを取り外します。



## ステップ 2-B

## 下穴用の位置マーキング

間柱センサー等を使用して間柱を見つけたら、設置用型紙[B]を使って、壁裏の間柱にネジを打つ位置にペンでマーキングをします。(補強壁の場合はお好みの位置に)



間柱に沿うように、  
ネジ穴の位置をマーキングします

目視&水平器等を参考に  
水平に型紙を合わせます



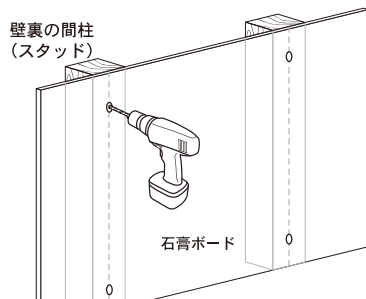
## ステップ 2-C

## ネジ用の下穴の開口

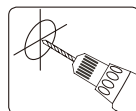
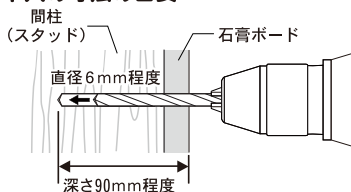
次に、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。下穴を開けておくと後の作業が楽になり、工事失敗の可能性が下がります。



壁への穴あけ



### 下穴の寸法の目安



下穴は真っ直ぐに開けるよう注意してください

## ステップ 3

## 壁へのテレビ金具の打ち込み

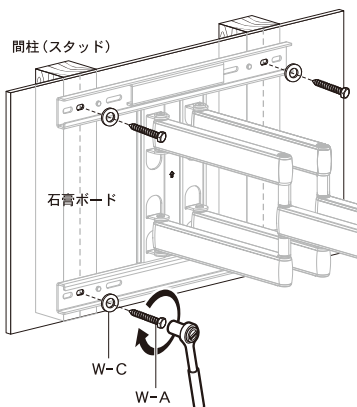
最も大切な部分です。図を参考に壁用ラグボルト [W-A] と壁用ワッシャー [W-C] を使用して、金具を壁面にしっかりと打ち付けます。金具には上下があります。金具の上下をよくご確認の上、作業を行ってください。

※付属の壁用ラグボルトを取り付ける際には  
M13 の六角ソケットレンチまたは  
ドリルドライバー用の六角ソケットが必要です。

※設置する壁に合った壁面ボルトをご用意ください。



ソケットレンチ



ご注意

**設置は自己責任です。必ず間柱に設置を!**

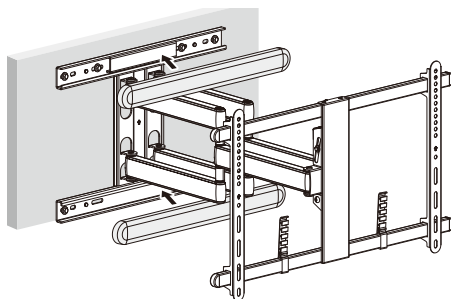
ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら  
(ネジの空効き等)

設置を中断し、専門業者に相談してください。

## ステップ 4

## カバーの取り付け

壁用ボルトでしっかりと取り付けたら、  
ステップ 2-A で外したカバーを取り付けます。

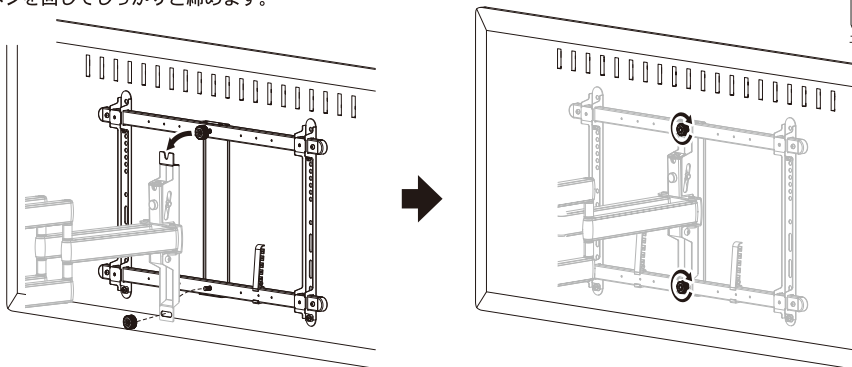


## ステップ5 テレビの金具本体への取り付け

2名以上でテレビを持って、金具本体にブラケット上部のネジを引っ掛け、ゆっくりと倒しながら穴の位置を確認し、下のネジを金具本体の穴に差し込みます。ネジを回してしっかりと締めます。

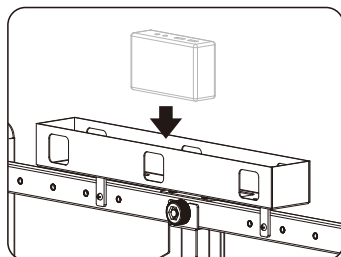
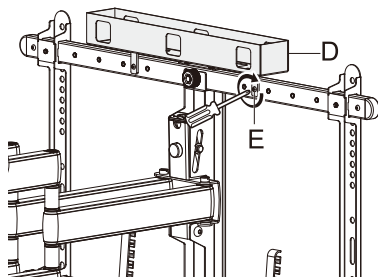


二人で作業を推奨



## ステップ6 ポケット部の取り付け

ポケット金具 [D] をボルト [E] を使ってブラケット上部に取り付けます。ブラケットの中央の位置に取り付けてください。



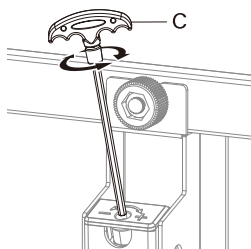
厚さ約 50mm 程度の物を収納できます。

## ステップ7 角度調節および水平調節



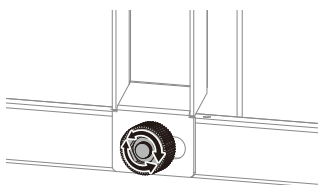
テレビの上下  
(うつむきの調節)

角度調節用レンチ [C] を使って、ブラケット裏のネジを回して角度を調節します。

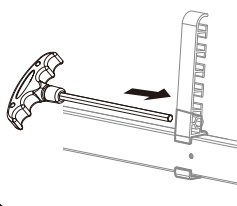


テレビの水平調節

ブラケット裏下部のネジを緩め、水平を調節します。平行が取れたらネジをしっかりと締めます。



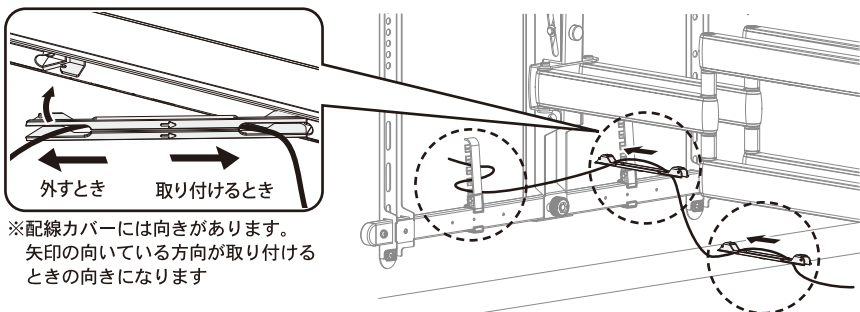
角度調節用レンチ [C] はいつでも使えるようにケーブルホルダーに差し込んで収納できます。



## ステップ 8

## 配線処理

下図のように配線カバーにケーブルを通します。



※配線カバーには向きがあります。  
矢印の向いている方向が取り付け  
ときの向きになります

### ポイント

配線カバーはスライドさせて着脱します。下画像を参考にして取付作業を行ってください。

### ●配線カバーを外す場合



①角度調整用レンチを 配線カバー中央の  
矢印手前の溝に差し込みます。

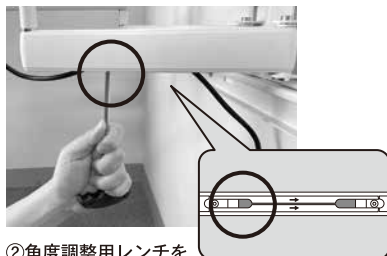


②角度調整用レンチを斜めに傾け、  
矢印の方向にスライドさせて外して  
ください。

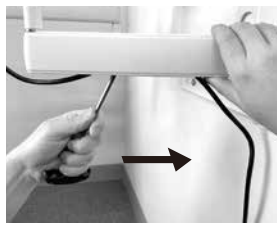
### ●配線カバーを取り付ける場合



①配線カバーを広げ、コード  
を押し込みます。



②角度調整用レンチを  
配線カバー中央の矢印後ろのみぞに  
差し込みます。



③角度調整用レンチを  
斜めに傾け、矢印の方向に  
スライドさせて取り付けます。



ご注意

### 設置後の定期確認について

各取り付け部分や壁面部にガタつき等が無い、チェックをしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締めなおしましょう。  
少しでも違和感があった場合、テレビをいったん取り外し、専門業者に相談してください。  
これらのチェック作業は3か月に程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。